

第 20 回京都府産業廃棄物減量・推進ネットワーク協議会

議事要旨

1 日時 平成29年3月1日(水) 午後1時30分～午後3時

2 場所 京都工業会館 2階 第1会議室

3 参加者 別紙委員名簿のとおり

4 概要

産業廃棄物税の使途事業効果及び産業廃棄物の3R戦略プランについて説明。実態調査結果をふまえた分析等に意見をいただいた。

5 内容

(1) 開会

・山田環境技術専門監より挨拶

(2) 議事

・議題1「産業廃棄物税の使途事業の効果について」に基づき、京都府における産業廃棄物の現状、使途事業効果について説明

・議題2「産業廃棄物の3R戦略プランについて」に基づき、今後の施策内容及び予算協議結果をふまえた現在の検討状況を説明

6 委員から頂いた主な意見

- ・最終処分量が平成17年から22年度にかけて大きく減少している要因は、排出量の減少以外にも要因があるのではないかと考える。
- ・上記に関連して、排出量が減少した要因は産業廃棄物税制度の効果だけではなく、各種リサイクル法の施行も要因としてあり得ると考える。
- ・費用対効果の算出方法は、年間あたりにどれだけ削減できるようになったのかを評価するという見方もあると考える。
- ・排出事業者が3Rの取組を自主的に進めていく動機付けに、目標設定が重要。自社も、ISO取得やKES取得により、目標を持ったことで廃棄物の排出量削減リサイクル率が向上した。
- ・大学生の見学ツアーは有意義だと考える。協力してくれる排出事業者は多いはずなので、工業会とも連携して事業を進めてみてはどうか。
- ・新しい試みが多く、来年度以降の成果が楽しみである。今年度のように数値効果を毎年算出しながら、効果検証を続けることで、PDCAサイクルを回しながら施策を進められるのではないかと考える。